

「投てき可能な人工芝」の 日本陸連 JAAF 指定検査機関になりました

日本陸上競技連盟（以下、JAAF）は、「投てき実施可能な人工芝敷設ガイドライン」を定め、2018 年度から公式に導入しています。この度、カケンテストセンター大阪事業所は、砲丸、円盤、ハンマー、やり投げなどの投てき競技が可能な人工芝の、JAAF 指定検査機関になりました。

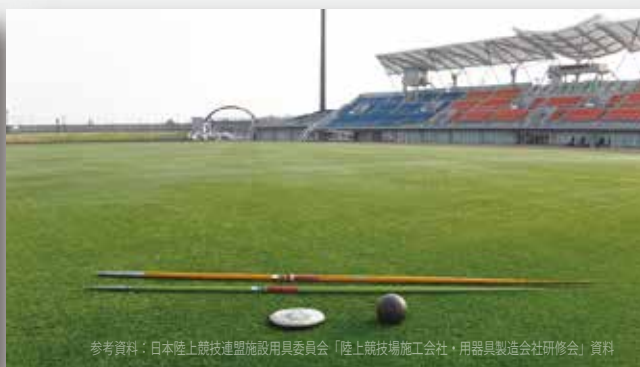
「投てき可能なロングパイル人工芝」は 2006 年に日本のメーカーが世界に先駆けて開発し、国内では既に実用化されています。改定版の国際陸連（以下、IAAF）施設マニュアルに「投てき実施可能な人工芝」の使用を認める記述が加わる予定で、各国の陸連とサッカー協会が認めることを条件として、IAAF 認証競技場に敷設することが可能となりました。

こうした流れを受けて、JAAF は 2018 年 4 月 1 日に規則改定をし、従来は天然芝が必須であった JAAF 第 1 種・第 2 種・第 3 種公認陸上競技場のインフィールドに「投てき実施可能な人工芝」の敷設も可能としました。

敷設する人工芝は、JAAF 指定検査機関であらかじめラボテストを実施し、基準値を満たした人工芝であることが必須となります。また、インフィールドへの人工芝敷設後、フィールドテストを実施し、基準値をクリアする必要があります。



参考資料：日本陸上競技連盟施設用具委員会「陸上競技場施工会社・用器具製造会社研修会」資料



参考資料：日本陸上競技連盟施設用具委員会「陸上競技場施工会社・用器具製造会社研修会」資料



カケン は

IAAF（国際陸上競技連盟）
JAAF（日本陸上競技連盟）
JFA（日本サッカー協会）
JRFU（日本ラグビーフットボール協会）
など各種スポーツ団体の
指定検査機関です。



お問い合わせ先

大阪事業所資材ラボ TEL **06-6441-0315**
「投てき可能な人工芝について」とお気軽にお問い合わせください。